平成29年 教育委員会第13回秘密会 会議録

日 時 平成29年 7月25日 (火)

午後 4時27分～午後 4時55分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 1 協議

【指導課】

- (1) 平成30年度使用 特別支援学級用教科用図書採択
- (2) 平成30年度使用 中等教育学校(後期課程)教科用図書採択
- (3) 平成30年度使用 小学校教育用図書採択(特別の教科道徳)

出席委員(4名)

教育委員長	中川 典子
教育委員長職務代理者	金丸 精孝
教育委員	古川 紀子
教育長	島崎 友四郎

出席職員(3名)

子ども部長	大矢 栄一
教育担当部長	小川 賢太郎
子ども総務課長事務取扱 子ども部参事	安田 昌一
指導課長	杉浦 伸一
統括指導主事	佐藤 達哉

欠席委員(0名)

欠席職員(0名)

書記(2名)

総務係長	村松 紀彦
総務係員	松村 秀一

中川委員長 | ただいまから平成29年教育委員会第13回定例会秘密会を開会します。

◎日程第1 協議

指導課

- (1) 平成30年度使用 特別支援学級用教科用図書採択

(2) 平成30年度使用 中等教育学校（後期課程）教科用図書採択

(3) 平成30年度使用 小学校教育用図書採択（特別の教科道徳）

中川委員長

日程第1、協議に入ります。

平成30年度使用特別支援学級教科用図書採択について指導課長より説明をお願いいたします。

指導課長

平成30年度使用特別支援学級教科用図書の採択について、資料に基づいてご説明を申し上げます。

特別支援学級で使用する教科書の選定ということで、区内に設置されている特別支援学級が来年度使用する教科用図書の選定について、ご協議いただくものでございます。特別支援学級の教科用図書の採択につきましては、特別支援学級設置校の校長からの申請によるものとされております。本区においては、千代田小学校と麴町中学校の校長が児童・生徒の個別指導計画に基づき選定しております。

詳細の手順は資料3、千代田区立学校特別支援学級用教科用図書採択にかかわる基本方針の5の教科用図書の選定及び採択に示しております。なお、特別支援学級における教科用図書の採択は、2、採択の期間に示しておりますとおり、特別支援学級の児童・生徒の発達状況が多様であることから、単年度ごとにその児童・生徒に適した教科書を採択することとなっております。

この件につきましては、調査研究が6月中に実施され、結果報告されたものを取りまとめたものでございます。その後詳しく、統括指導主事から資料をもとに報告を申し上げますが、それをお聞きいただいた後、ご協議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

統括指導主事

統括指導主事です。資料をごらんください。

まず、特別支援学級用の教科用図書採択の制度につきまして、ご説明申し上げます。資料3、千代田区立学校特別支援学級用教科用図書採択にかかわる基本方針をごらんください。

1、採択の方法に示されておりますが、特別支援学級の教科用図書につきましては、原則として通常の学級において使用する教科書を使用するという事となっております。また、学校教育法附則第9条の規定によります、教科用図書の採択に当たりましては、特別支援学級設置校の校長からの申請によるものとなっております。

3、採択の原則にお示ししておりますとおり、学校教育法附則第9条の定めにより、特別支援学級においては、検定教科書また文部科学省著作教科書を使用することが原則ですが、児童・生徒の障害の種類や程度、能力・特性から判断し、教科により当該学年の検定教科書や文部科学省著作教科書を使用することが適当でない場合、これに替わる適切な一般図書を使用することができると定められております。このことから、特別支援学級用の一般図書を一般的には第9条本、第9条図書というような言い方をしております。こ

の第9条本、第9条図書でございますが、米印でございますように、東京都教育委員会が調査し、特別支援教育教科書として用いる観点から選定された図書ということになります。その後ご説明させていただきます、特別支援学級設置校の校長からの選定結果としての申請のありました、一般図書は全て東京都教育委員会が調査し、選定した図書の中から選ばれているということになります。

続きまして、資料1をごらんください。この採択の原則に従いまして、特別支援学級設置校校長より提出されました、選定についての申請文章でございます。

まず、千代田小学校より29千千小発第47号。また麴町中学校から29千麴中発第39号を持ちまして、選定結果が事務局に届けられております。この結果をまとめましたのが、平成30年度使用特別支援学級用教科用図書選定結果一覧でございます。この一覧につきまして、特に記載がない学年、また、種目については、通常学級使用の教科書を使用します。それでは、各設置校から提出されました、選定結果につきまして、ご説明を申し上げます。

まず、千代田小学校からは1年から3学年は全種目通常学級で使用する教科用図書を使用します。4年から6学年は全種目において、一般図書。先ほど申し上げましたところの第9条本を使用するという申請です。ただし、通常学級において、小学3年生以上は理科、社会、5年生以上は家庭科を設定いたしますが、特別支援学級の場合は児童の実態に応じて、社会、理科、家庭科のかわりに生活、特別支援学級用の教科の一般図書を採択することができるとされており、その場合、先の3教科は採択できないとされております。ことし本区の選定では、小学校4、5、6年生で社会、理科、家庭科のかわりに生活が選定されております。

続いて中学校の設置校、麴町中学校からは全学年とも種目によって通常学級使用の教科用図書、もしくは一般図書を使用するという申請が出されております。

なお、今お話ししております学年につきましては、平成30年度の学年となります。今年度の各学年の在籍状況につきましては、資料4にお示ししております。今年度の児童生徒の個別指導計画に基づき、次年度の教科書を申請しているという形になります。

資料2、選定理由書にはそれぞれの学年で第9条本を選定した理由をお示ししておりますので、ごらんください。また、資料末尾に今年度使用の特別支援学級用教科用図書一覧を参考として添付しております。特別支援学級用教科用図書の選定についてのご説明は以上です。

中川委員長

説明が終わりました。ご意見、ご質問等がありましたらどうぞ。お願いいたします。

金丸委員。

金丸委員

よろしいですか。例えば千代田小は4年生、5年生、6年生。いずれも複数対象児童がいますね。同じように麴町中学校の場合にも3年生に複数対象

児童がいる。これは同じ教科書で問題がないというチェックが加わった結果
こういうことになったというように理解すればよろしいのでしょうか。

要するに個々によって違うわけですから、だけれども、大体同じようなと
ころで、大丈夫だというこういう趣旨なののでしょうか、ということです。

指 導 課 長

一つの学級については、複数、個々に応じた一人一人の本来はそれが一番
適切でしょうけれども、選ぶことができませんので、その中間とか、担当し
ている教員が一番適切な2人なら2人にあったものを選ぶという状況が実際
にございます。

中川委員長

ほかはいかがでしょうか。

教育長

教 育 長

ちょっと質問ですけれども、小学校は1年から3年までは通常学級の使用
教科書で、小学校4、5、6年は第9条本を使う。中学校は1年から3年ま
で、通常の教科書または、9条本を使うという説明ですけれども、この資料
の中で中学校1年生から3年生まで、教科書発行者と教科書名が書いてあり
ますけれども、これは9条本と通常教科書が混在しているということではい
いのでしょうか。

統括指導主事

こちらに記載されているのは、いわゆる9条本と言われている教科書であ
ると理解しております。

中川委員長

よろしいですか。

ほかはいかがでしょうか。

(な し)

中川委員長

それでは、次に平成30年度使用九段中等教育学校（後期課程）教科用図書
採択について指導課長より説明をお願いいたします。

指 導 課 長

では、協議事項2点目、平成30年度使用九段中等教育学校（後期課程）教
科用図書の採択について、ご説明を申し上げます。こちら先ほど特別支援
学級の教科用図書と同様で選定理由及び結果報告を事務局にご提出いただ
いたものでございます。中等教育学校の後期課程につきましては、高等学校部
分ということで、生徒の状況あるいは学力の幅等に差があり、また、カリキ
ュラムの編成についても、学校の創意工夫がありますので、後期課程の教科
書につきましては、学校長の権限で選定したものを教育委員会に報告し、教
育委員会の皆様に最終的に採択していただくという手続となっております。

委員の皆様におかれましては、展示会等でごらんいただいたかと存じま
す。本日も協議いただきました後、8月末に採択いただくという運びになり
ます。その間に再度ご確認していただくという場合には九段中等学校にある
いは、教育研究所のほうへ見本本がございますので、そちらでご確認いただ
ければと思います。

それでは統括指導主事から詳細を報告させていただきます。

統括指導主事

統括指導主事です。平成30年度使用九段中等教育学校（後期課程）用教科
用図書採択という資料をごらんください。まず、九段中等教育学校後期課程
の教科書採択の基本方針についてご説明いたします。資料3をごらんくださ

い。

中等教育学校の後期課程につきましては、1の(1)にございますように、学校の選定結果を総合的に判断し、教育委員会が採択するという事になっております。また、1の(3)にございますように、生徒の実情等を十分配慮するという事になっております。そのため、3、教科書の選定についての(1)にございますように、教科書の選定委員会を設定することとなっております。選定委員会の名簿は資料5に示しております。また、3の(2)東京都教育委員会が作成した「高等学校用教科書調査研究資料」を活用し、学習指導要領の目標や生徒の実態、学校の指導内容や指導方法に照らした教育効果を踏まえながら、教科書の調査研究及び選定作業を実施したということでございます。

教科書選定委員会設置要綱は資料4にお示ししてございます。選定結果でございますが、資料1をごらんください。7月10日付、第403号をもちまして、選定理由書とともに選定結果が事務局に提出されております。この選定結果をまとめたものが、1・2ページにお示した平成30年度千代田区立九段中等教育学校後期課程使用教科用図書一覧でございます。選定結果をごらんください。

教科、各科目別に選定しました教科書の名称また使用学年が記載されております。その中で、備考欄に「替」という文字が入っている科目、種目がございます。これにつきましては、今年度使用している当該学年の当該科目の教科書から採択替えを行うということを示しております、全部で6種目となっております。これらの選定理由につきましては、資料2から一覧にまとめてございますので、そちらをごらんください。なお、資料末尾に平成29年度使用の教科用図書一覧を参考資料としてお付けさせていただきました。

戻りますが、1ページをごらんください。数学Ⅱは使用学年が2学年入っております。これは、4年生と5年生の2学年にわたって使用するという事からこのような記載となっております。解説する全ての種目の教科書については、資料2の選定理由書に記載しております。それぞれの科目名、教科書名、使用学年が示されており、その右端に需要数報告の「有」「無」があります。「有」は、今回初めて採択する種目、「無」は以前その教科書を採択しており、需用数報告をする必要のない種目を示します。

中等教育学校(後期課程)教科用図書の選定について、私からの説明は以上となります。

中川委員長

この件に関しまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

金丸委員

すみません、読み方がいま一つ理解できていないので、教えてください。

資料2を見ると、1ページ目に国語総合というものの6年生用が2つありますね。6年生用が2つあって、需用数がいないというのは多分、6年生が過去にこの教科書を入手しているからだろうと思うのですが、それは先ほどの一覧の中には記載がないのは、要するにそれを新たにとる必要がないか

らという趣旨なののでしょうか。要するに4年生の国語総合というのは、一覧の最初の2つですよね。で、この選定の資料2の順序からいくとその下にさらに国語総合が2つ入ってきていいのかなと思っていたら、入っていないものですから、それは要するに事業者数の報告件数ではないものについては、この一覧からも抜いてあるというそういう理解でよろしいでしょうか。

統括指導主事

金丸委員のおっしゃるとおりでございます。「有」となっているのは今回初めて採択する種目、「無」は以前その教科書を採択しており、授業数等を報告する必要のないというところで、今回こちらには記載していないということでございます。

金丸委員

もう1つ同じところですけども、国語総合の4年で使っていたから、6年のこれはそこには載せて来ないということですけども、4年で使って5年は別のものを使って、また4年生の教科書に戻るということは、要するに6年生では受験生に特化するので、もとに戻ったほうがいいのか、そういうような趣旨なののでしょうか。

資料2のところを見ますと、今言った6年生の2つについては、国語総合ですが、4年生で使用したである云々と書いてありますよね。何か普通に考えると、4年用の教科書をやって、終わって、5年生用の教科書をやって、そしたら6年生用の教科書になるのではないかなと普通だったら思うのですが、そうではなくて、4年生の教科書に戻るというのは、まとめをやるという、そういう趣旨なんですか。

統括指導主事

では、今のご質問について、8月1日までに確認をさせていただきたいと思います。

中川委員長

よろしいですか。

そうですね。前にもそういうようなことがありました。

結構、同じ教科書を何学年にもわたって使うということなのですね。では、その点については、明確な答えをお願いいたします。

ほかはいかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

中川委員長

では、九段中等教育学校の後期課程の教科書については8月下旬の教育委員会で採択するというので、次に進みたいと思います。

次に平成30年度使用小学校教科用図書採択（特別の教科道徳）について指導課長より説明をお願いいたします。

指導課長

平成30年度使用小学校教科用図書選定について、ご説明申し上げます。本件につきましては、千代田区立小中学校中等教育学校前期課程教科用図書採択事務取扱要綱に従い、6月16日に第1回教科用図書選定委員会を開催し、選定委員長並びに副委員長を選出し、調査研究を進めてまいりました。本日教科用図書選定委員会委員長が公務により欠席のため、代理で事務局統括指導主事より答申いたします。それではお願いいたします。

統括指導主事

それでは、平成30年度使用小学校教科用図書選定審議結果を答申いたします。

まず、各委員会の構成について申し上げます。各委員会の構成は答申書に添付しております。資料1及び資料2をごらんください。選定委員長は勝又正之昌平小学校校長。副委員長は齋藤孝之麴町小学校副校長でございます。調査委員は各学校の校長から推薦がありました、副校長や主任教諭等について、要項に従って、確認書を提出し、教育委員会から委嘱いただきました。調査研究の経過及び答申の概要は同じく答申に添付してございます、資料3をごらんください。

6月16日に第1回教科用図書選定委員会を開催し、選定委員長から各学校校長に教科用図書調査委員の推選を依頼し、あわせて教科用図書研究会の開催を依頼いたしました。教科用図書研究会では各項において、5月下旬から6月中旬にかけて行い、本日調査書を様式1として報告しております。教科用図書調査委員会は6月23日に開催し、本日調査教科書一覧表様式2として報告しております。教科用図書選定委員会では、調査を受け、7月10日第2回教科用図書選定委員会を開催し、調査研究を進め、答申書を作成いたしました。それでは答申書をお渡しさせていただきます。

平成29年、7月25日千代田区教育委員会殿。

教科用図書選定委員会委員長勝又正之。

平成30年度使用小学校教科用図書選定について（答申）。

本委員会では、平成30年度使用、小学校教科用図書選定について調査研究を進めてまいりましたが、このたび、選定審議結果を下記のとおりまとめましたので、ここに答申いたします。

選定審議結果、教科用図書選定委員会調査結果、別添「様式3 調査研究資料（選定答申書）」。教科用図書調査委員会調査結果、別添「様式2 調査一覧表」。教科用図書研究会調査結果別添「様式1 調査書」。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

いただきます。ありがとうございました。

それでは、ただいまの答申とあわせ、事務局から研究資料の一環として、選定委員会議事録及び参考資料として、教科書展示会報告を提出いたします。なお、答申していただいた研究資料及び議事録は要項第8条審議の公正確保に従い、8月22日の採択予定日まで非公開とさせていただきますので、取り扱いについて、ご注意をお願いいたします。

はい、ご苦労さまでした。教育委員会では、ただいま答申いただきました、全ての調査研究の結果を生かし、今後十分に調査研究を進め、みずからの責任と権限において、採択を行います。

以上で、本日の日程は全て終了しました。本日の定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

中川委員長
指導課長

中川委員長